

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例

E. 学習・研究環境の改善

②国内外の学会発表、実習等に対する経済的支援の充実

**取組を進めるに当たり困難であった事例について**

**E. 学習・研究環境の改善**

**②国内外の学会発表、実習等に対する経済的支援の充実**

**《人社系》**

**●一橋大学経済学研究科経済理論・経済統計専攻**

**「文系修士課程における金融工学教育モデル」の事例**

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

支援期間中に学生海外研修派遣を2回実施し、学生による海外の学会参加・発表、大学や金融機関の視察が実現した。単年度の取組としては成功したが、制度化するには至らなかった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

関係教員の意思統一を図り、制度化する方法が確立できていなかったため、大学側に働きかけることができなかった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

当初から制度化することを前提に計画し、資金面など体制の確立を目指していれば、望ましい結果が得られたものと思われる。